2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名　KeePer技研株式会社　　上場取引所　東・名
コ ー ド 番 号　6036　　URL https://keepergiken.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役会長兼社長CEO　(氏名) 谷　好通
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役COO　(氏名) 鈴置　力親　(TEL) 0562-45-5258

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	6,639	15.0	1,789	29.6	1,832	35.4	1,233	35.5
2026年６月期第１四半期	5,774	6.7	1,380	△7.8	1,352	△10.0	910	△10.7

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	22.59	―
2026年６月期第１四半期	16.68	―

(注) 当社は2026年11月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	30,935	24,684	79.8
2026年６月期	33,521	25,090	74.8

(参考)　自己資本　2027年６月期第１四半期　24,684百万円　2026年６月期　25,090百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	40.00	60.00	100.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	50.00	50.00

(注１) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

(注２) 当社は2026年11月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。今回の2027年６月期配当予想は当該株式分割後の１株当たりの配当予想を記載しております。なお2026年６月期の配当実績は株式分割前の実績を記載しております。

３．2027年６月期の業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	14,900	15.2	4,866	32.0	4,866	32.1	3,485	△51.8	63.85
通期	29,380	13.2	9,012	30.3	9,012	30.0	6,222	△36.7	113.99

(注１) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

(注２) 当社は2026年11月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2027年６月期の業績予想における１株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

会計方針の変更に関する注記

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	56,561,680株	2026年６月期	56,561,680株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	1,979,516株	2026年６月期	1,979,452株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	54,582,199株	2026年６月期１Ｑ	54,582,414株

発行済株式数に関する注記

当社は2026年11月1日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）Ｐ５「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 6
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 6
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）四半期貸借対照表 …… 7
（２）四半期損益計算書 …… 9
第１四半期累計期間 …… 9
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 11
（収益認識関係） …… 11
（重要な後発事象） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）経営成績に関する説明

2027年6月期　第１四半期決算短信

当事業年度（2026年７月１日から2026年９月30日）における我が国の経済は、雇用および所得環境が改善傾向にあったものの、物価上昇の長期化により家計の負担が増大しました。そのため、個人消費への影響に対する先行きへの懸念が続き、消費者は節約志向を強め、支出も慎重な状況が続きました。さらに、米国の関税政策の影響、エネルギー価格や原材料価格の上昇、中国経済の成長鈍化などの影響により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供するKeePerコーティングの品質の維持・向上を、これまで以上に実現していくことが、当面の業績向上のみならず、将来の発展を見据えたKeePerブランドの確立において最も重要であると考えております。

2027年6月期 第１四半期 実績

当第１四半期累計期間におきましては、売上高は66億39百万円（前年同期比15.0％増加）、営業利益は17億89百万円（同29.6％増加）、経常利益は18億32百万円（同35.4％増加）、純利益は12億33百万円（同35.5％増加）と、第１四半期としては売上高、利益ともに過去最高となりました。

この第１四半期期間（７月～９月）は、７月は昨年同様に日本全国で災害級の猛暑、８月中旬以降は全国的に降雨が多く、特に９月は関東での異例の天候不順（千葉での２か月連続の大水害、東京では35日間連続の雨天を記録するなど）がみられ、洗車での来店台数が減少し総来店台数が減少しました。しかしダイヤⅡキーパーを中心とした各種KeePerコーティングの需要は堅調であったため、平均単価は上昇する傾向となりました。

事業分野別の状況は次のとおりです。

キーパーLABO運営事業

キーパーLABO運営事業の売上高は、35億88百万円（前年同期比11.6％増加）、セグメント利益は５億51百万円（同42.7％増加）となりました。

７月～８月にかけての熱中症対策は概ね上手くいき、熱中症になるスタッフは１名も出ず乗り越えることができ安心しております。１番暑かった７月は、人時生産性が6,913円/時と標準レベルでコントロールが出来ております。さらに、今後も店舗ハードの改修は随時続いて行き、今あるだけでも16店舗の計画があります。お客様の利便性が上がる事を中心に考えつつも、スタッフの働く環境も見直していく中で、店舗ハードとしても今後の熱中症対策を根本的に変えられるよう取り組んでいきます。加えて、６月より導入をした『週休３日制』は、残業時間の削減に大きな効果が出ております。また、技術者数が前年に対して約７％増え、かつベースアップも実施した中でも、人件費総計は前年同月とほぼ同じ金額となっております。

９月の大雨については、千葉県、神奈川県で、台風に伴う警報により１日の臨時休業を行いました。特に佐倉店では周辺が浸水したことで、追加で１日の臨時休業を行いましたが、スタッフ含め全店無事であったため、すぐに通常営業に戻ることができました。一方で、長期にわたり雨天が続いたことで、KeePerを施工したお客様からは、「これだけ雨が降ると、KeePerの効果がよく分かる。」「雨でキレイになっていて、しばらく洗車していない。」など、ポジティブなお話もたくさん聞きました。

各種KeePerコーティングの施工台数については、関東を中心に水害による一時的な新車の納車遅れがありEXキーパーの施工台数が3,565台（前年比8.1％減少）。そのような中でも、中級品のダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は、13,774台（前年比6.7％増加）と、前年までのダイヤシリーズ３種合計の施工台数を上回り堅調に伸びております。また、フレッシュキーパー、クリスタルキーパーの施工台数は、21,545台（前年比4.3%増加）となり、各キーパーコーティングのメンテナンス類は前年比0.4％減少となりました。

その結果、当第１四半期においては、大雨の影響があったものの、コーティング需要は継続してあった事から、総来店台数は193,196台と前年同期で1.2％の減少にとどまりました。そして、長雨によって、洗車でご来店のお客様の日程変更が続き、洗車が減ったことにより、平均単価は17,919円/台（前年比11.4％増加）となっております。

今後の新店開発の予定

今期の新規出店は、直営店:20店、FC店:30店の合計50店舗を予定しており、現在まで計画通りに進捗しております。

開店済み

店舗名	所在地	オープン日	ラボ累計店舗数 ()内：直営店
横浜鶴ヶ峰店（FC）	神奈川県横浜市旭区	2026年７月29日	185（150）
高岳店	愛知県名古屋市東区	2026年８月７日	186（151）
函館店	北海道函館市	2026年８月14日	187（152）
下高井戸店（FC）	東京都杉並区	2026年８月27日	188（152）
岡南（こうなん）店（FC）	岡山県岡山市南区	2026年９月10日	189（152）
伊勢店	三重県伊勢市	2026年10月24日	190（153）

2026年10月末時点でのKeePer LABO店舗数は、直営:153店舗、FC:37店舗、全190店舗となりました。

今後の開店予定

店舗名（仮称）	所在地	オープン予定日
環７江戸川店（FC）	東京都江戸川区	2026年11月６日
仙台一番町店（FC）	宮城県仙台市青葉区	2026年12月４日
金沢高柳店（FC）	石川県金沢市	2026年12月７日
銀閣寺店（FC）	京都府京都市左京区	2026年12月
堀田店	愛知県名古屋市瑞穂区	2026年12月
松江店（FC）	島根県松江市	2026年12月
倉敷店（FC）	岡山県倉敷市	2027年１月
鳥取店（FC）	鳥取県鳥取市	2027年１月
小倉井堀店（FC）	福岡県北九州市小倉北区	2027年３月
佐久平店	長野県佐久市	2027年３月
上田店（FC）	長野県上田市	2027年３月
木更津店	千葉県木更津市	2027年３月
旭川店（FC）	北海道旭川市	2027年３月
川崎宿河原店	神奈川県川崎市多摩区	2027年３月
川崎加瀬店	神奈川県川崎市幸区	2027年４月
平子橋店	愛知県名古屋市南区	2027年４月
松山店(FC)	愛媛県松山市	2027年４月
坂戸店（FC）	埼玉県坂戸市	2027年４月
厚別店（FC）	北海道札幌市厚別区	2027年４月
霧島国分店（FC）	鹿児島県霧島市	2027年４月
イオン津桜橋店	三重県津市	2027年４月
多治見店（FC）	岐阜県多治見市	2027年５月
米子店（FC）	鳥取県米子市	2027年６月
前橋吉岡店	群馬県北群馬郡吉岡町	2027年６月
横浜大倉山店	神奈川県横浜市港北区	2027年６月
多摩店	東京都多摩市	2027年６月
沼津店	静岡県沼津市	2027年６月
お台場店	東京都港区	2027年６月
練馬北店（FC）	東京都練馬区	2027年６月

既存店の改装状況及び今後の予定

店舗名	所在地	ブース数の増設
東海店　※済み	愛知県	全面改装　洗い場全天候型へ
水戸内原店	茨城県	ブース：４台→７台
品川店	東京都	お客様喫煙スペースの確保
足立店	東京都	洗い場全天候型へ＋ゲストルーム改修＋TREXブース設置
昭島店	東京都	洗い場全天候型へ
武蔵村山店	東京都	テント屋根増設
小平店	東京都	洗い場全天候型へ＋テント屋根増設
福生店	東京都	全天候化
世田谷店	東京都	全面改装：モビリティベース化 ブース：８台 → 20台
江南店	愛知県	ブース：３台→６台
長久手店	愛知県	ブース：４台→７台
一宮店	愛知県	洗い場全天候型へ
師勝店	愛知県	ブース：４台→７台
大府店	愛知県	洗い場全天候型へ＋ブース：５台→８台
石川橋店	愛知県	洗い場全天候型へ
姫路店	兵庫県	洗い場全天候型へ＋TREXブース設置

キーパー製品等関連事業

キーパー製品等関連事業の売上高は30億50百万円（前年同期比19.3%増加）、セグメント利益は12億37百万円（同24.4%増加）となりました。

キーパー製品等関連事業の売上構成比

単位：百万円	'26.6期 Q１	構成比	'27.6期 Q１	構成比	前年比
製品売上	2,557	―	3,050	―	119.3%
―アフターマーケット	1,569	61.4%	1,535	50.3%	97.8%
―新車マーケット	909	35.6%	1,289	42.3%	141.8%
―車以外	72	2.8%	191	6.3%	265.3%
―海外	5	0.2%	33	1.1%	660.0%

アフターマーケットの中心であるキーパープロショップでは、猛暑の影響を大きく受け、前年同期比2.2%減少となりました。しかし、猛暑が和らいできた時期からは、「ダイヤⅡキーパー」そして、「フレッシュキーパー」を中心に多くの施工がおこなわれております。

この期間では全国22カ所のトレーニングセンターで開催をしている技術研修会への参加者が増加し、特に、年齢の若い方の参加が多く、技術研修会への参加者が、前年同期比で20%増加しました。この傾向は今でも続いており、最需要期の12月に向け、準備が進められております。

また、４月から開催をしてきました「第11回 2026年 キーパー技術コンテスト」は、11/4(水):準決勝・11/5(木):決勝の日程で「全日本チャンピオン決定戦」を行い、埼玉県代表の後藤来愛選手（株式会社矢嶋商店)が全日本チャンピオンに輝きました。今年も出場者数が過去最高を更新しております。

新車ディーラーを中心とした「新車マーケット」では、前年同期比41.8%増加となり、構成比が前期35.6%から42.3%へと伸長しました。

純正採用となっている自動車メーカーごとに営業チームを作って各社現場への活動へスイッチし、チームごとに随時ミーティングを行ってコミュニケーションを図ってまいりました。また、各ディーラーの店舗(現場)で『とにかくKeePerを施工した車を作る活動』が、実際にお客様に対してKeePerをご案内するディーラーの営業マンにその仕上がりの良さ、施工後のトラブルの少なさなど商品力の高さが伝わり、実を結び始めています。

加えて技術研修会に参加される企業も増加しており、KeePerを内製化で進めていく企業も増えてきました。当社の強みである、営業スタッフ１人１人が、キーパーLABO出身の技術者であり、KeePerの品質を守る事を１番に考え、今後も活動をしていきます。

「車以外」のサービスは、前年同期比265.3%と大きな増加となりました。

スマートフォン向けコーティングの「モバイルキーパー」は、既導入店での技術研修会を継続的に実施しております。メガネ専用キーパーコーティング「Glasses KeePer（グラッシーズキーパー）」は、夏需要のサングラスや汗で汚れやすい時期と重なり、安定して製品納入が進んでおります。

住宅・ホテル向けの「お風呂のコーティングサービス」も、全国22か所のトレーニングセンターで開催の「お風呂キーパー研修会」への参加が増えております。

海外展開については、前年同期比660.0%と大きな増加となりました。

新たにスリランカのトヨタ販売店でのKeePer導入が決まり、日本での技術研修をスタートしています。また、台湾のキーパープロショップは１店舗当たりの売上が、日本国内のKeePer LABOと遜色のない水準まで成長しております。既存店舗の実績が着実に積み上がっていることから、今後はさらなる店舗展開と事業規模の拡大が期待できます。

（２）財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ25億85百万円減少し、309億35百万円となりました。これは主として、現金及び預金が25億７百万円減少、売掛金が１億１百万円減少、商品が74百万円減少、有形固定資産が２億95百万円増加したこと等によるものです。

（負債）

当第１四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ21億79百万円減少し、62億51百万円となりました。これは主として、未払法人税等が23億77百万円減少、買掛金が１億45百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ４億６百万円減少し、246億84百万円となりました。これは主として、利益剰余金が四半期純利益により12億33百万円増加したことに加えて、配当により16億37百万円減少したことによるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の業績予想につきましては、2026年８月14日公表の業績予想より変更しておりません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年６月30日)	当第１四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,277,237	11,769,390
電子記録債権	198,929	120,965
売掛金	2,216,862	2,114,918
商品	1,390,428	1,316,319
貯蔵品	95,289	97,819
前渡金	90,118	759
前払費用	302,573	235,710
１年内回収予定の関係会社長期貸付金	17,841	27,871
その他	71,913	158,295
貸倒引当金	△222	△230
流動資産合計	18,660,970	15,841,820
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,512,472	8,658,848
構築物（純額）	421,216	428,369
機械及び装置（純額）	29,508	28,125
車両運搬具（純額）	44,018	41,932
工具、器具及び備品（純額）	277,014	278,288
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産（純額）	354,339	346,920
建設仮勘定	83,631	234,780
有形固定資産合計	11,739,036	12,034,101
無形固定資産		
ソフトウエア	99,413	91,007
その他	45,041	44,937
無形固定資産合計	144,454	135,945
投資その他の資産		
投資有価証券	57,178	54,639
関係会社株式	281,339	281,339
長期前払費用	65,994	63,644
敷金及び保証金	750,477	776,264
建設協力金	354,339	346,782
保険積立金	11,460	11,460
関係会社長期貸付金	841,306	836,839
繰延税金資産	614,794	552,739
その他	10	10
投資その他の資産合計	2,976,899	2,923,720
固定資産合計	14,860,390	15,093,767
資産合計	33,521,361	30,935,587

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年６月30日)	当第１四半期会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	640,730	786,306
１年内返済予定の長期借入金	474,316	462,316
未払金	604,395	720,752
未払法人税等	2,955,422	578,349
未払費用	441,630	333,522
リース債務	28,817	28,565
資産除去債務	21,645	16,414
賞与引当金	83,931	299,350
契約負債	163,904	156,831
その他	246,404	215,460
流動負債合計	5,661,198	3,597,869
固定負債		
長期借入金	468,789	354,210
退職給付引当金	639,356	661,722
役員退職慰労引当金	303,228	262,601
リース債務	325,521	318,354
資産除去債務	1,017,296	1,036,455
その他	15,344	19,844
固定負債合計	2,769,535	2,653,188
負債合計	8,430,733	6,251,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金		
その他資本剰余金	1,049,019	1,049,019
資本剰余金合計	1,049,019	1,049,019
利益剰余金		
利益準備金	336,889	336,889
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	24,519,999	24,115,810
利益剰余金合計	24,856,888	24,452,700
自己株式	△2,165,379	△2,165,474
株主資本合計	25,088,086	24,683,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,541	726
評価・換算差額等合計	2,541	726
純資産合計	25,090,627	24,684,529
負債純資産合計	33,521,361	30,935,587

（２）四半期損益計算書

第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	5,774,257	6,639,204
売上原価	3,055,962	3,465,608
売上総利益	2,718,295	3,173,596
販売費及び一般管理費	1,337,629	1,384,565
営業利益	1,380,666	1,789,031
営業外収益		
受取利息	5,675	23,253
為替差益	－	22,694
受取手数料	690	623
その他	7,226	318
営業外収益合計	13,593	46,890
営業外費用		
支払利息	4,837	3,707
為替差損	30,375	－
その他	6,257	2
営業外費用合計	41,470	3,709
経常利益	1,352,788	1,832,212
特別利益		
固定資産売却益	75	368
特別利益合計	75	368
特別損失		
固定資産除売却損	1,526	－
特別損失合計	1,526	－
税引前四半期純利益	1,351,337	1,832,581
法人税、住民税及び事業税	434,099	536,434
法人税等調整額	7,054	62,869
法人税等合計	441,153	599,303
四半期純利益	910,183	1,233,278

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第１四半期累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	153,681	－	153,681	－	153,681
仙台営業所	295,987	－	295,987	－	295,987
東京営業所	572,500	－	572,500	－	572,500
横浜営業所	229,157	－	229,157	－	229,157
名古屋営業所	553,763	－	553,763	－	553,763
大阪営業所	246,339	－	246,339	－	246,339
広島営業所	235,442	－	235,442	－	235,442
福岡営業所	271,030	－	271,030	－	271,030
東日本	－	1,629,262	1,629,262	－	1,629,262
西日本	－	1,587,091	1,587,091	－	1,587,091
顧客との契約から生じる収益	2,557,903	3,216,353	5,774,257	－	5,774,257
外部顧客への売上高	2,557,903	3,216,353	5,774,257	－	5,774,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	153,662	－	153,662	△153,662	－
計	2,711,566	3,216,353	5,927,920	△153,662	5,774,257
セグメント利益	994,567	386,098	1,380,666	－	1,380,666

（注）セグメント間の内部売上高 153,662千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

当第１四半期累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額
	キーパー製品等関連事業	キーパーLABO運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	189,639	－	189,639	－	189,639
仙台営業所	313,735	－	313,735	－	313,735
東京営業所	755,415	－	755,415	－	755,415
横浜営業所	301,451	－	301,451	－	301,451
名古屋営業所	596,773	－	596,773	－	596,773
大阪営業所	321,662	－	321,662	－	321,662
広島営業所	241,400	－	241,400	－	241,400
福岡営業所	330,157	－	330,157	－	330,157
東日本	－	1,776,256	1,776,256	－	1,776,256
西日本	－	1,812,713	1,812,713	－	1,812,713
顧客との契約から生じる収益	3,050,234	3,588,969	6,639,204	－	6,639,204
外部顧客への売上高	3,050,234	3,588,969	6,639,204	－	6,639,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	184,870	－	184,870	△184,870	－
計	3,235,105	3,588,969	6,824,074	△184,870	6,639,204
セグメント利益	1,237,085	551,945	1,789,031	－	1,789,031

（注）セグメント間の内部売上高 184,870千円は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業に対するものです。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	161,588千円	177,814千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象）

株式分割

当社は、2026年11月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を実施いたしました。

１.株式分割の目的

当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることにより、投資

家層の拡大および当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

２.株式分割の概要

①分割の方法

2026年10月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式１株につき、２株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	28,280,840株
今回の分割により増加する株式数	28,280,840株
株式分割後の発行済株式総数	56,561,680株
株式分割後の発行可能株式総数	80,000,000株

３.日程

基準日設定公告日	2026年10月16日
基準日	2026年10月31日
効力発生日	2026年11月１日

４.１株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合における（１株当たり情報）の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第１四半期累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
１株当たり純資産額(円)	380.51	452.24
１株当たり四半期純利益(円)	16.68	22.59
潜在株式調整後 １株当たり四半期純利益	―	―

(注)潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

５.その他

当社の定款に定める発行可能株式総数範囲内での株式分割であるため、今回の株式分割に伴う定款の変更はありません。また、今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。